

日本盲教育史研究会 第3回ミニ研修会（in 札幌）ご案内

期待の声が寄せられている第3回ミニ研修会を北海道（札幌～増毛）で開催できる運びとなりました。

明治期以降、北の大地においても、札幌、函館、旭川、帯広、小樽、稚内で盲教育の歴史を果敢に切り拓いていった先人があり、確かな足跡が深々と残されています。今回は、その全体像を鳥瞰するとともに、函館、旭川、帯広の各盲学校史とその創設者の志について掘り下げます。分厚い蓄積のある北海道における「視覚障害教育史研究」活動からも学ぶ機会になることでしょう。オプションツアーとしては、本年が生誕100年となる日本点字図書館創立者・本間一夫氏の生家を増毛町に訪ねる旅も企画していただいています。

会場として、今春開校する予定の北海道札幌視覚支援学校をお借りすることができ、その真新しい校舎の見学もさせていただきます。企画・運営について、北海道視覚障害教育史懇談会と北海道盲学校退職校長会の皆様から絶大なお力添えを頂戴しています。皆様のお越しをお待ちしています。

日時 （1） 研修会・懇親会 2015年 5月 30日（土） 11：30～20：30
（2） オプションツアー 同 5月 31日（日） 8：00～15：40

会場 北海道札幌視覚支援学校附属理療研修センター2階 第1研修室（理療研修センター玄関よりお入りください）

札幌市中央区南14条西12丁目1番1号（地図は後掲）

日程及び内容

5月30日

○校舎見学（11：30～12：30 時間厳守）：希望者

○研修会

一般受付（12：00～）

開会行事（13：00～）

講演（13：10～15：00）

講師 佐藤 忠道 氏（札幌大学非常勤講師）

講演題 「北海道における盲・聾啞教育の形成過程～戦前期の盲教育を中心として～」

発表（15：10～）

テーマ 「北海道の視覚障害教育の先達者に学ぶ」

①シャーロット・P・ドレーパーと函館盲学校（酒井 宏三 氏）

②南雲総次郎と旭川盲学校（伊藤 勇 氏）

③岩元悦郎と帯広盲学校（樋原 理恵 氏）

閉会行事（17：10～17：15）

○懇親会（18：30～）

古艦帆来（コロボックル）：札幌市中央区南4条西4丁目松岡ビル3F

会費：5,000円（当日受付にて徴収）

5月31日

○日本点字図書館創設者本間一夫氏生誕100周年記念オプションツアー

① 行き先 本間一夫氏生家（旧商屋丸一本間家）：増毛町弁天町1丁目

② 行程（貸し切りバス利用）

8：00 集合（札幌駅北口）

8：10 出発

8：10～10：40 往路

10：40～11：30 見学

11：30～13：00 昼食・買い物等（國稀酒造酒蔵見学可）

13：10～15：40 復路

15：40 到着・解散（札幌駅北口）

③参加費：入館料：300円、昼食代2,000円程度（研修会当日に受付にて徴収）

備 考

- ・ 普通文字、拡大文字及び点字の資料を準備します。
- ・ 5月30日の手話通訳者を配置します。（31日については参加希望を集約したうえで検討。）
- ・ 宿舎・航空券・切符・（30日・懇親会及び31日・昼食以外の）食事は個々人でご用意の上、移動の安全にもご留意下さい。なお、別紙として、会場への交通アクセス、新千歳空港発（夕方から夜間便）の時刻表を添付します。

★会場校は、4月の開校に向けた繁忙のさなかです。余分なご負担をかけないため、本件に関する問い合わせは、必ず日本盲教育史研究会事務局宛てにお願いします。

申し込み 日本盲教育史研究会事務局宛てに「氏名・住所・所属・電話番号・メールアドレス・使用文字、校舎見学・懇親会・オプションツアーそれぞれの参加希望有無、その他の配慮希望」を記して郵送もしくはメールでご提出ください。

（締切：2015年4月30日（木））

申込先

〒611-0013 京都府宇治市菟道丸山1-70

日本盲教育史研究会事務局 moshijimu@moshiken.org

★事務局アドレスが従来とは変わっています。ご注意ください。

* 懇親会会費、オプションツアー参加費は、現地で徴収いたします。

主催・日本盲教育史研究会 共催・北海道視覚障害教育史懇談会 協賛・北海道盲学校退職校長会

————— 会場への地図とアクセス等について —————

別紙 地図・アクセス説明、新千歳空港発各方面時刻表（夕方～夜間）